



〔Photographed by 尾川 弘昭 (相の浦)〕

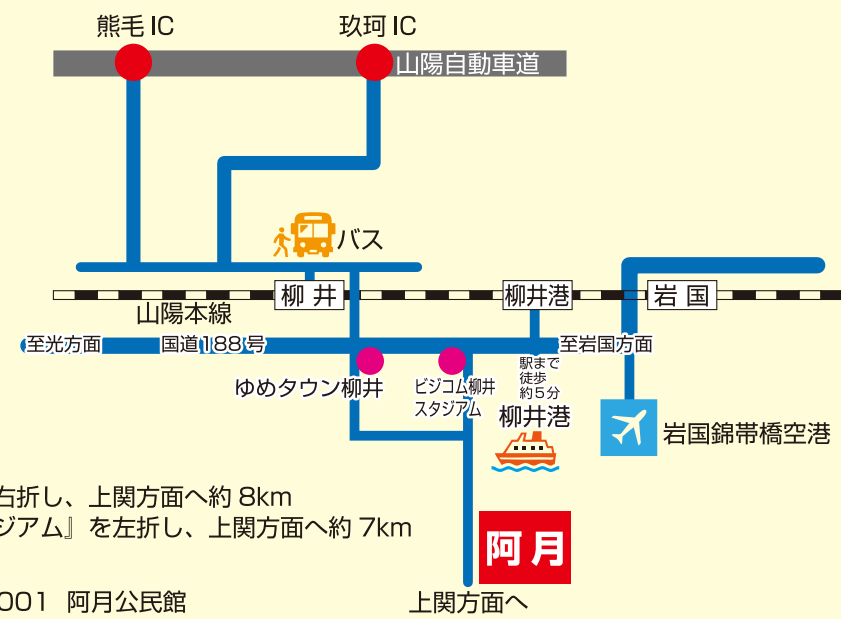
あ つ き
阿 月
史跡めぐりマップ
(宇積・相の浦・池の浦 編) **MAP**



阿月神明祭は正保元年(1644)から続く
 国指定重要無形民俗文化財です。



- **飛行機で**
 ●羽田空港 — 岩国錦帯橋空港 / 1時間40分
- **高速道路で**
 ●山陽自動車道玖珂 IC から車で約35分
 ●山陽自動車道熊毛 IC から車で約40分
- **フェリーで**
 ●松山 (三津浜港) — 柳井港 / 2時間30分
- **電車で**
 広島駅 — 柳井駅 / 1時間25分
 岩国駅 — 柳井駅 / 35分
 徳山駅 — 柳井駅 / 35分
 柳井港駅 — 柳井駅 / 5分



- **お車で**
 ●光方面より、国道188号線『ゆめタウン柳井』を右折し、上関方面へ約8km
 ●岩国方面より、国道188号線『ビジコム柳井スタジアム』を左折し、上関方面へ約7km
- **問合せ**
 ●阿月地区コミュニティ協議会 電話：0820-27-0001 阿月公民館

阿月地区夢プラン

阿月地区コミュニティ協議会

●印刷：ワークショップ白壁

史跡めぐりマップ

宇積・相の浦・池の浦 編

協力：豊笑家倶楽部 2015.11

阿月地区編参照



伊保庄

平生町

湯原海水浴場

かつて湯原は相当栄え、『湯原千軒』の呼称が残る。牛を大事にしていた百姓が牛を湯に入れると、それ以後湯原はどこを掘っても湯は出なかったという伝説がある。

与浦遺跡

伊保庄の黒島浜遺跡とともに、海底縄文遺跡として知られている。1971(昭和46)年に発見され、土器片、石器類が採集された。この地域における縄文人集団の生業を示唆するとともに、地盤変動の解明にも重要な資料を提供するものとして注目されている。

拡大

上関町

拡大



相の浦賀茂神社御式年祭

相の浦地区で、25年に1度行われる祭



相の浦賀茂神社

1353(文和2)年創建。玉依姫命ほか5の神をまつ。祭日は9月6・7日で、6日に湯立てを行い、7日に供物を供える。一帯はスタジイの群落で、モッコク、クロガネモチなどの大木がある。



旧相浦小学校

1988(昭和63)年に旧阿月小学校へ統合。1995(平成7)年に映画『さけ、わたつみの声』のロケ地となった。



報恩寺(浄土真宗)

前身は円勝寺相浦庵。1885(明治18)年、祝島の魔寺と伝えられる寺号をもらって建立。美しい庭あり。



皇座山

大空家のイブキビヤクシン 高さ約6m。目通り幹囲200cmの巨木。県道からもよく見える。花は3月初旬。



池浦神社(平家神社)

祭神は安徳天皇。1726(享保11)年社殿を建立。1871(明治4)年までは平家大明神と称していた。平家の軍船がひそんでいた池が荒地になっていたのが、領主浦元敏が領民に耕作させたが五穀が実らず、種々の怪異が起こったので怨霊のしわざと考え、地中に埋もれた刀剣、矢しなどを掘り出し、それを御神体としてまつり、平家大明神と称した。その後は怪異もやみ五穀も実るようになったといわれている。



池田家、連理カエデ跡

池田家は平家神社の守護役。平家一門である相の浦の門脇家と縁のある家柄で、高い石堀が屋敷の周囲をとり囲んでいる。庭には連理カエデがあり、全国でもまれにみる巨樹で県天然記念物だったが、平成になって枯れた。



平家坂

池の浦合戦で敗れた平家の将兵が急斜面をよじ登って大津方面に逃げのびたといわれている。

池浦神社社叢

神社の屋根を覆いかぶさるようにヒメユズリハ群落が見える。また、ヤブニッケイの群落やスタジイ、タブノキ、クロガネモチなどが群生している。

池の浦道路公園

池の浦合戦の碑がある。初日の出が見られる。

0 100 200m

0 500 1000m

阿月地区をもっと知りたい時は、以下の文献をごらん下さい。

『ぼくわたしのふるさと 阿月めぐり』柳井市立阿月小学校、2003年

『柳井の維新史』柳井市史編纂委員会、1970年

『柳井図書館叢書第十九集 中世の柳井について』柳井市立柳井図書館、2004年

『悲運の第三代奇兵隊総管 赤禰武人』角井菊雄、2000年

「この地図は、柳井市長の承認を得て平成14年12月作成の柳井市都市計画図及び地形図を使用したものである。(承認番号平成18年2月8日 柳都第79号)」